VGCO-8862H型 R

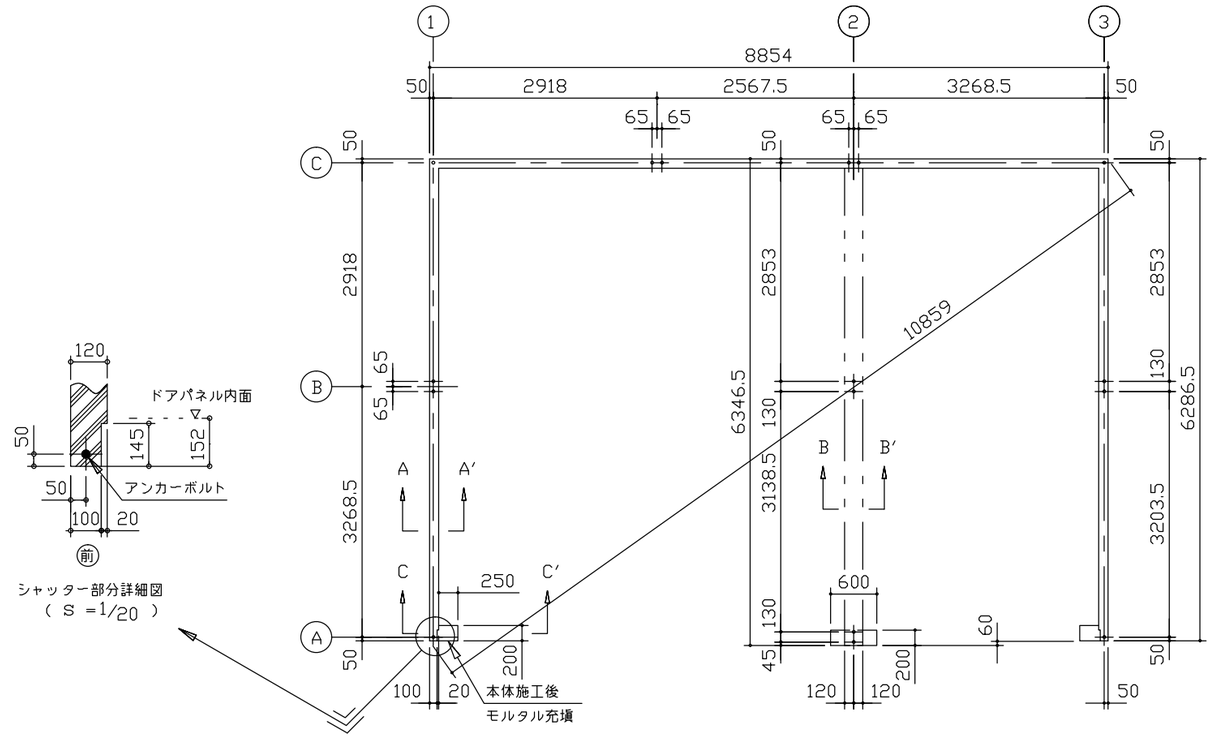
建築面積	54.16m²（16.41坪）	（間口柱芯寸法）×（奥行柱芯寸法）

構造耐力上主要な部分の部材

部材名	形状	板厚	使用材料	有効細長比
前柱	□-85×115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後柱	L-115×115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中柱（左右）	□-85×84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
後柱（中）	□-85×84	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	74.5
前柱（中）	□-85×85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	81.1
中柱（中）	□-85×85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	78.3
桁前	⊐-437.5×79	1.2mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁前補強	⊐-304.5×45	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁中	⊐-263×45	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁中	⊐-263×45	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁中補強	⊐-263×45	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁中補強	⊐-263×45	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁後	C-155×85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
梁	I-310×114	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
壁パネル	⌣-25×701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	———	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	———	7.0φ用	JIS A5541建築用ターンバックル胴 STKM	
アンカープレート	———	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	

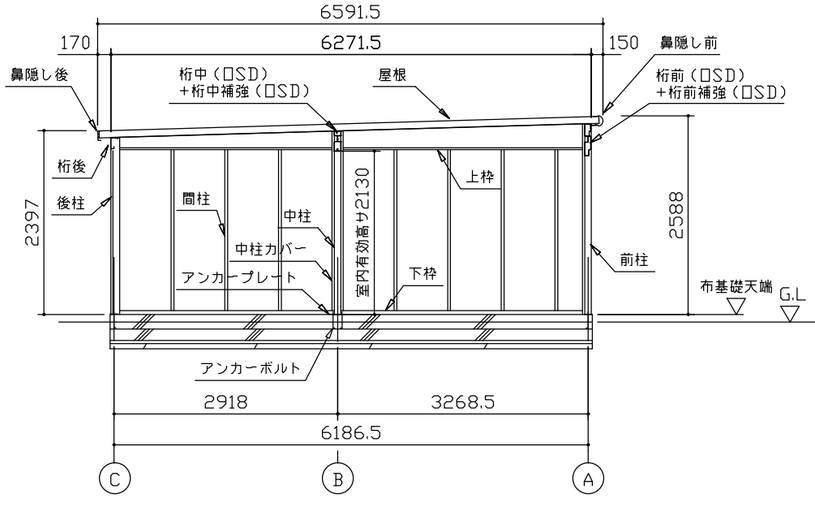
構造耐力上主要な部分以外の部材

部材名	形状	板厚	使用材料
上枠	⊐-430×55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下枠	⊏-81×64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	⌣-26×145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
袖柱	⊐-230.5×78	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
間柱	⊏-31×24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
屋根	⌇⌇ -88×600	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
オーバースライディングパネル	⊐-60×504（420）	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLC400
鼻隠し前	C-130×113	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し後	⊏-122×48	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）
ケラバ	⊐-130×135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）

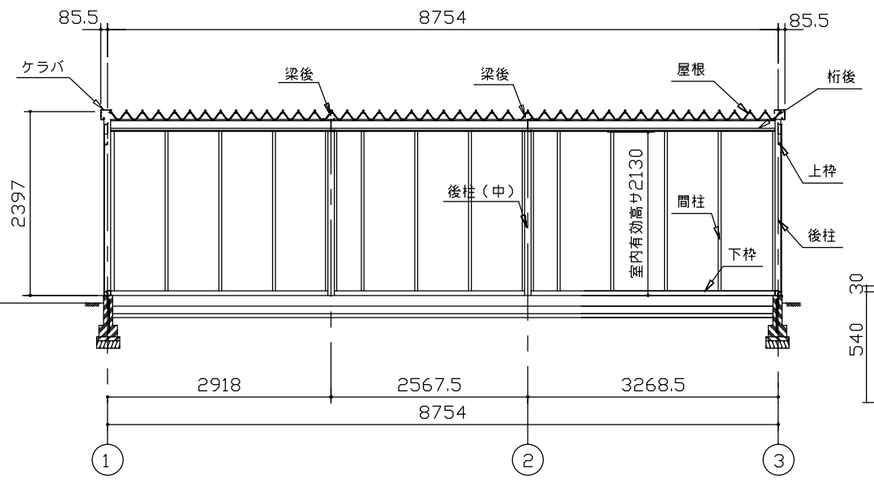


布基礎伏図（S=1/80）

シャッター部分詳細図（S=1/20）



側面断面図（S=1/80）



正面断面図（S=1/80）

・基礎断面図　縮尺=1/30

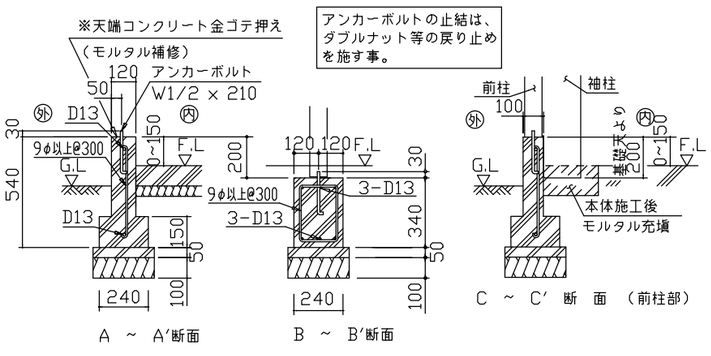
（地耐力　50KN/m²以上,コンクリート設計基準強度　18N/mm² 以上
基準風速 34m/s，地表面粗度区分Ⅲ）

＜上記条件での参考図です。＞

注1）地耐力が 50kN/m² 未満（30kN/m² 以上）の場合、底盤幅を300mmとし、かつ補助筋を入れて下さい。

注2）寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注3）その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



アンカーボルトの止結は、ダブルナット等の戻り止めを施す事。

・有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。

名称	ヨドガレージ ラヴィージュⅢ	株式会社 淀川製鋼所
機種名	VGCO-8862H 型-R（単棟）	

＜VGCO-8862H-R-1-B_0.DXF＞